

千葉県南部宗務所管内寺院の過疎、過密についての研究

遠藤了義

過疎地域とは↓国の過疎地域自立促進特別措置法に定義する要件を満たしている地域のこと、即ち国の指定する過疎地域市町村をもつて過疎地域とする。

過疎地域寺院とは↓広義には過疎地域にある寺院総てを指すが、狭義に過疎地域にあつて檀信徒の数が減少し維持運営に困難をきたしている寺院。又は、将来に於てその可能性が高い寺院

過疎寺院とは↓(寺院の過疎とは)社会的要因が主な原因で檀信徒の数が減少している寺院。あるいは減少していること

過疎地寺院活性化とは↓檀信徒の数を増やすことであり、地域社会に於て存在感のある寺院となることであり、経済的に自立できる環境をつくることである

以上が宗門の機関で考えている過疎問題である。

さて、それでは千葉県南部の場合はどうか。平成三十三年には日蓮大聖人ご生誕八〇〇年を迎える当地であるが、もともと真言、天台の地盤である。別表のごとく人口・世帯数に対し全寺院の総数が多く寺院過密である。

又、農林水産業の多い土地柄と、明治の廃仏毀釈により仏教より神道に移ったり、戦後の農地改法(解放)による寺院所持の農地が無くなり、又、産業構造の変化で地方より都市への人口の流出、残された人々の高齢化という社会

環境の変化が生じた。寺院は経済の困窮、後継者難、住職の高齢化、無住化を歩むこととなった。

又、そこに新興宗教が入って来るといふ無住や代務寺の地域に増加している。

宗門の三十一等以下の寺院は全国で一、〇〇〇数ヶ寺であるが、その五%の五十四ヶ寺が千葉県南部であり千葉教区では一五九ヶ寺一五%となる。

又、固定電話の無い寺院が別表のごとく千葉教区で百十一ヶ寺、千葉南部は二十三ヶ寺である。固定電話がないということは、そこに住んで居ないと云う事である。千葉県南部で代務寺院は三十六ヶ寺あり正住職が居ても名前だけで普段はお寺には居ないという寺院も二十数ヶ寺あり名義上のみの住職で住職寺といっても寺院自体は無住寺と変わりは無い。そうした中では普段住職と檀家との交流はほとんど無い。

又、数ヶ寺代務をしているから何かと経済的に生活が維持されているのであって正住職の赴任を代務者は望んでいないし、少数の檀家では一寺を養うことは経済的にも無理という背景もある。(檀家も正住を望んでいない)

過疎地にあっても立派に堂宇が再建された寺もある。檀家の法務が少ない為、何らかの兼職に就き、社会の職場で一生を過ごした住職が、最後に仏祖へのお返しにという思いから、自分の退職金を投げ出して再建されたという例も無くはない。そういう寺の場合は寺と檀家の関係も安定している。

それに対して檀家数が少なく無住となった寺を代務する場合、代務寺院の伽藍整備は常識的に考えても難しい。代務住職は檀家の法務には出かけるが、寺の前は素通りとなり堂宇は荒れるばかりであろう。

檀家数が寺門維持の限界ぎりぎりといった寺は、檀信徒の寄付を集めて堂宇の修理に精一杯で布教どころでは無いであろう。

今後は、過疎化していくであろう千葉南部の寺院をいかに考えるかという問題はマニュアル化出来る範囲を超えていて複雑である。

この問題は各寺院の置かれている地理的条件をはじめ、その寺の特殊な事情など「生活困窮寺院」と重ね合わせて解決していかねばならないだろう。(寺院は過密で集落は過疎である)

本来、寺院を拠点とし、布教の一単位として進めてきた存在が、社会変動の影響や寺檀僧俗対応のあり方が不在寺院となり空寺化してゆくパターンが増加していく事は目に見えており、現代社会では、デパート、銀行、中小大企業など合併をしても自社の生き残りを計っている時代である。現場の現実を知ってもらい、宗門も五〇〇〇ヶ寺という寺院数へのこだわりを捨て、まず堂宇の無い名前だけの寺院や寺院の境内地に集会所が建っておるなどの寺院を合併、統廃合を進める事で実質的な法城としての寺院を目指すべきであると提言します。

郡市名	人口	世帯数	全寺院数	日蓮宗寺院数	その他(日蓮宗寺院のみ)	1ヶ寺9世帯
勝浦市	20,112	9,326	60 (日蓮51)	51	1ヶ寺は名前だけ 代務6ヶ寺 住職名は付いているが普段は 他所に居て無住6ヶ寺	152 世帯
いすみ市 旧 大原 旧 岬 旧 夷隅	41,275	16,775	102 (天台55) (禅系12) 地区別 大原41 岬29 夷隅32	29+1 (旧夷隅町中16ヶ寺 中活動寺院は4ヶ寺) 住職名は付いている が代務を含めると9 ヶ寺は無住	代務6ヶ寺+1は教会 住職名は付いているが普段は 他所に無住7ヶ寺	164
夷隅郡 大多喜町	10,262	3,943	53	34 (1ヶ寺は名前だけ 境内地のみ)	平成10年頃までは37ヶ寺、 3ヶ寺合併 普段代務を含め住職名は付い ているが無住25ヶ寺 活動寺院は8ヶ寺しかない	74
御宿町	7,975	3,624	17 [天台8] [禅5]	2 (1ヶ寺代務)		213
長生郡 睦沢町	7,421	2,651	29 [天台13] [禅7]	4	南部2(全部代務) 西部2(1ヶ寺代務)	91
館山市	49,481	22,581	98 [真言智51] [禅系24]	7+1	+1は結社	230
鴨川市 旧 鴨川 旧 天徳	35,566	15,974	103 [真言智41] [禅系30]	15	2ヶ寺代務	155
安房郡 館南町	8,872	3,771	30 [真言智9] [禅系12]	3	平成10年頃までは7ヶ寺あつた 4ヶ寺合併 1ヶ寺代務 正宗の本山がある	125
南房総市 旧 白浜町 富浦町 千倉町 和田町 富山町 丸山町 三芳村	5,159 5,099 11,587 5,096 5,426 5,300 4,307	2,384 2,065 4,879 2,078 2,238 2,153 1,557	16(真言智13) 21(禅7) 31(天台12) 18(禅16) 18 24 20	0 5 2 4 1 1 0	3ヶ寺代務 白浜町は0 三芳村は0	136
計	41,914	17,354	127	13+1	+1は結社	

●南部159ヶ寺中31等以下54ヶ寺
(全国で1,000ヶ寺ほど31等以下がある。その5%が千葉県南部。千葉県全体で159ヶ寺15%である)

●新興教団の動向

勝浦武道大学の前に創価学会の会館
御宿駅前に顕正会の会館
鴨川市に創価学会の会館
長生村に幸福の科学の道場
他 校成会、ものみの塔、キリスト教団など

●固定電話の無い寺院

東(139)ヶ寺中 40ヶ寺
西(111)ヶ寺中 40ヶ寺
南(159)ヶ寺中 23ヶ寺
北(168)ヶ寺中 8ヶ寺

千葉県577ヶ寺中
111ヶ寺 TEL無し

※人口、世帯数は本年3月～5月時のもの
※日蓮宗寺院数は平成24年度名簿による
※全寺院数は平成10年度寺院総監による(現在では多少減っている)
※1ヶ寺平均は仏教のみなのであまりあてにならない

資料②

※過疎寺院問題は、地域の過疎化により生じているものと過密寺院のように特殊な事情により生じているものに大別される。

◎過疎地寺院の現状（将来不常住寺院になる恐れのある寺院）

法務だけで寺院の維持、生活が難しくなっている寺院

生活の為、寺以外に勤務して寺院を維持している寺院

（会社、役場、教職員、団体職員など）

生活の為、副業を有し寺院を維持している寺院

（パート業、店舗経営、会社経営）

住職の年金がある為にいまのところ維持出来ている寺院

生活を切りつめることでかろうじて維持している寺院

時々他の寺院の手伝いをしながら維持している寺院

生活の為地域外で暮らし法務の度に寺に戻ること維持している寺院

他の寺院に努めて法務の度に寺に戻ること維持している寺院

檀家数が少なく他寺院（親等）の援助で維持している寺院

檀家数が少なく代務により維持している寺院

伽藍は存在するが兼務により維持している寺院

等々

◎不活動寺院（宗教活動を全く行わない宗教法人）

参拝や法要などの出来る堂宇が無い寺院

住職・寺族が生活出来る庫裡が無い寺院

境内地が無い寺院

墓地が無い寺院

檀信徒がいない寺院

法務や葬儀が行われていない寺院

等々

（過疎地寺院活性化検討委員会資料より）